

第3次岡山市環境基本計画（案）に係る
意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

1 意見募集の概要

募集期間	令和7年11月27日（木）から令和7年12月26日（金）まで
閲覧場所	環境保全課、情報公開室、各区役所総務・地域振興課（北区役所を除く）、岡山市ホームページ
意見提出方法	持参、郵送、電子メール、ファクス、岡山市ホームページのご意見入力フォーム
意見提出先	岡山市環境局環境部環境保全課

2 意見募集の結果

意見提出者数 2名

意見件数 4件

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	対応分類
全体				
1	全体	<p>目標共有のためにも、計画の視点に書かれているように、「市民に分かりやすい計画（わかりやすさ）」も、ぜひ大切にしていただけたらと思います。</p> <p>ところどころ用語の解説も加えていただいておりますが、少し表現が分かりづらいところもあるように感じました（一例として、5ページにある「ネイチャーポジティブ」や「30by30」など。）</p> <p>「カーボンニュートラル」「ゼロカーボン」「脱炭素」といった言葉なども、メディア等を通じて耳にする機会は増えましたが、それぞれの言葉の意味や、何のためにそれを目指すのかなど、正しく（具体的に）理解できているかという点においては、個人差も大きいように感じています。</p> <p>環境保全について関心はあっても、それぞれの言葉が意外と難しく、漠然とした理解に留まってしまうということも多そうです。</p> <p>見せ方や表現などがもう少しあかりよいものになると、市民個々でも理解が進み、何らかの行動のきっかけに繋がるのかなとも思います。</p> <p>抽象的な意見で恐縮ですが、計画が、環境保全に関心を寄せ、行動に繋がるきっかけになることを期待しております。</p>	<p>一般的にあまり知られていない用語や取組みについては、別途、用語集やコラムを作成し、補足します。また、わかりにくい文章表現というご指摘に対しては、全体の文章を再度確認し、用語の統一や、簡潔な文章への変更などの修正を行います。</p>	意見を受けて計画を修正。
2	全体	全般的に文章が分かりにくい表現が多いので、市民にわかりやすい表現を検討してください。		
第2章				
3	P22	自然共生サイトの認定数（箇所）について、市内北部・中部・南部のレベルで、カウントしてはどうでしょうか。認定数の偏りを防ぐため。	自然共生サイトの認定数の指標は、生物多様性保全に資する地域を市域で広げていくという意図で設定しました。市内のどの地域から認定が進んでも良いと考えているため、指標は原案のままとします。	計画に記載（計画を修正）しない。
4	P26	環境学習プログラムの参加者数（人）について、開催回数も入れてはどうでしょうか。場が用意されていること、各地で展開されていることが重要なことだと思います。	環境学習プログラムは、開催方法や規模が多様であるため、参加者数を指標にする方が、取組の広がりを把握できると考え設定しました。多様な場での展開は重要と考えますが、指標は原案のままとします。	計画に記載（計画を修正）しない。